

FICオープンセミナー

ミャンマーの民主化を考える

ミャンマーの民主化略史
日本の対ミャンマーODA(2015～)
ミャンマーの地名

国軍による見せかけの「選挙」と日本からできること

ミャンマー関連年表(選挙と軍事クーデター)

1886	ミャンマーがイギリス領に編入
1947.2	一部少数民族とのバンロン協定(自治権を認める連邦制合意)
1948.1	イギリスから独立(ビルマ連邦)
1962.3	ネウインによる軍事クーデター
1988.8-9	ネウイン退陣後の民主化運動(8888運動)。軍がクーデター。NLD(国民民主連盟)政党登録
1989.7	スーチー自宅軟禁(20年余で3度)。91年にノーベル平和賞
1990.5	総選挙でスーチー率いるNLD圧勝。軍政は結果を無視
2007.9	サフラン革命(反政府デモ)。軍の弾圧
2010.11	NLD不参加の総選挙。軍政の流れをくむUSDP勝利
2011.3	元軍人のテインセイン大統領政権(一応の民政移管)
2012.4	連邦議会補欠選挙でスーチーらNLD候補者当選
2015.11	NLDが総選挙で圧勝
2016.3-4	NLD政権発足(テインチョー大統領、スーチー国家顧問)
2020.11	NLDが総選挙で圧勝
2021.2-	国軍によるクーデター・市民の弾圧

日本の対ミャンマーODA(出典:外務省)

表-1-1 我が国の対ミャンマー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2016年度	1,358.08	156.14	98.12
2017年度	1,170.40	135.07	92.00
2018年度	-	190.68	104.09
2019年度	1,688.58	150.14	66.55
2020年度	727.79	185.38	48.79

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。
2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2015年	日本 351.14	英国 174.02	米国 113.86	オーストラリア 55.43	スイス 40.48	351.14	893.74
2016年	日本 506.82	英国 144.59	米国 131.45	韓国 47.31	オーストラリア 46.47	506.82	1,082.44
2017年	日本 379.07	英国 155.71	米国 139.56	韓国 77.61	オーストラリア 68.24	379.07	1,075.87
2018年	日本 536.90	米国 143.96	英国 133.76	ドイツ 59.74	ポーランド 58.93	536.90	1,257.83
2019年	日本 756.93	米国 148.77	英国 144.25	韓国 90.64	ドイツ 74.20	756.93	1,516.31

出典) OECD/DAC
注) 卒業国向け援助を除く。

